

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育内容（健康）		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬, 安本 卓也	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。領域「健康」のねらい及び内容について背景にある専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、情報機器及び教材の活用法等も理解しながら、具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業の内容に応じてディスカッション及びグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	健康及び領域「健康」の意味（担当：伊藤数馬）	一般的な健康の定義について概説し、幼児の場合はどのように捉えたらよいのか具体的な事例を挙げて説明する。また領域「健康」とはなにかを、保育の基本の視点から理解できるようにする。	□
第2回	健康に関わる幼児の生活実態と今後の課題（担当：安本卓也）	幼児が生活する環境がはたして幼児の健康にとって望ましいものかどうか、生活面での問題点を具体的に示しながら検討する。また何が課題かを明確にする。	□
第3回	幼児の身体・運動面の発達の特性 形態面・機能面において（担当：伊藤数馬）	乳幼児の発育・発達と関連させながら概説し、形態面の発達の特性を明確にする。また身体・運動機能面について、神経機能や循環機能、消化排泄機能など、機能面の発達の特性についても明確にする。	□
第4回	運動遊びの意義 幼児の発達と遊びの楽しさ（担当：伊藤数馬）	運動遊びの中で、幼児は何を身に付けているのか。最も重要なのは意欲の根幹である充実感を得ることである。そのためには幼児が遊びに感じる楽しさの変化を知り楽しさを追究する指導のあり方を学び説明できるようにする。	□
第5回	運動遊びに関する指導計画、指導案の作成と評価の観点および情報機器及び教材の活用（担当：伊藤数馬）	乳幼児の発育・発達を踏まえた上で、運動遊びに関する指導計画や指導案の作成方法を理解する。	□
第6回	運動遊びと保育者の援助・模擬保育Ⅰ 固定遊具、鬼遊び（担当：伊藤数馬）	ブランコやすべり台、ジャングルジム、総合遊具など遊具を使った遊びや鬼遊びをビデオや保育事例を参考に年齢に応じてどのように指導したらよいのか説明する。	□
第7回	運動遊びと保育者の援助・模擬保育Ⅱ ボール遊び、かけっこ・リレー（担当：伊藤数馬）	ボール遊びやかけっこ・リレーについて、ビデオや保育事例を参考に年齢に応じてどのように指導したらよいのか説明する。	□
第8回	運動遊びと保育者の援助・模擬保育Ⅲ なわとび、竹馬遊び（担当：伊藤数馬）	なわとびや竹馬を使った遊びについてビデオや保育事例を参考に年齢に応じてどのように指導したらよいのかを説明する。	□
第9回	健康・安全に関する生活習慣指導 発達の・自律意義（担当：安本卓也）	健康・安全に関する生活習慣を身に付ける発達の意義について学び、指導のあり方について明確にする。また生活習慣を幼児自らが意欲を持って取り組む自律的獲得ができるようにするには、どのような指導や配慮が必要かについて明確にする。	□
第10回	生活習慣に関する指導計画、指導案の作成（担当：安本卓也）	乳幼児の発育・発達を踏まえた上で、生活習慣に関する指導計画や指導案の作成方法を理解する。	□
第11回	清潔及び病気の予防の指導・模擬保育（担当：安本卓也）	手洗いやうがい、歯磨きなどの清潔の指導についてビデオや保育事例を参考に年齢に応じてどのように指導したらよいのかを説明し模擬保育を行う。	□
第12回	衣服の着脱の指導、片付けの指導・模擬保育（担当：安本卓也）	着替えや片付けの指導についてビデオや保育事例を参考に年齢に応じてどのように指導したらよいのかを説明し模擬保育を行う。	□

第13回	排泄の指導、安全の指導・模擬保育（担当：安本卓也）	排泄についてはとくに排泄後の処理やトイレの使い方やマナーなどを中心にビデオや保育事例を参考にどう指導したらよいのかを説明し模擬保育を行う。	☐
第14回	栄養・食事の指導・模擬保育（担当：安本卓也）	食事指導については好き嫌いや少食への対応だけでなくいわゆる食育として心を育てるにはどうすればよいかなどをビデオや保育事例を参考に説明し模擬保育を行う。	☐
第15回	本授業のまとめ（担当：伊藤数馬）	幼児自らが意欲的に取り組むことができる運動・健康・安全指導における保育者の役割を理解することを確認する。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details) 毎授業前までに次週で扱うテキストの章（またはページ）で興味をもった事柄やわからない字句、内容を調べる(2時間程度)。授業の中でわかりにくかったこと、テキストや配布資料で疑問となったことは授業担当者に尋ね、参考書などで調べる(2時間程度)。
--

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback) 課題に対するレポートについては、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つことで理解を深める。
--

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解し、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	「健康」における内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解し、幼稚園教育における評価の考え方を理解できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができ、模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を持つことができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 模擬保育の実践や指導案の作成、また授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「事例で学ぶ保育内容領域健康」（武藤隆著、萌文書林）	978-4-89347-256-4
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示，文部科学省）	
2	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示，内閣府・文部科学省・厚生労働省）	
3	講義時に適宜紹介する。	
4		
5		